

SHARP

取扱説明書

©2015 SHARP CORPORATION

CYBER
STICK

RS

CZ-8NJ2

（上野に準じて上野に準ずる）



はじめに

このたびは、シャープインテリジェントコントローラ CZ-8NJ2 をご購入ありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

なお、この取扱説明書は、保証書、シャープお客様ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。万一、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがあきたとき、きつとお役にたちます。

もくじ	ページ
1. 概要と特長	2
2. 取扱いのご注意	2
3. 各部の名称と機能	3
4. 接続手順	7
5. スティック、スロットル交換手順	8
6. 特殊モード	10
7. センター位置調整手順	11
8. コネクタピン配置および信号表	13
9. 仕様	14

1. 概要と特長

本機は、インテリジェントタイプの高機能、高性能なアナログモードを備えたコントローラで、アタリ仕様ジョイスティックポートをもつパーソナルコンピュータ(X68000シリーズなど)と接続できます。

本機の特長は次の通りです。

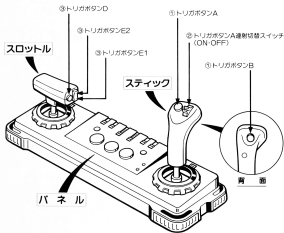
- (1) アナログモード方式(前進、左右各24ビット・256段階)のスティックを装備。切替スイッチにより従来のジョイスティックと同様の操作、すなわち、スティックを前後、左右、斜めなど最大8方向までコントロールが可能(デジタルモード)。
- (2) アナログモード方式(前進8ビット・256段階)のスロットルを装備。
- (3) 連射機能(連射オン・オフ、連射固定の3段階切替)、連射スピード調整可。
- (4) トリガボタンA、B、C、D、E1、E2の6種類を装備し、種々のソフトウェアの機能に対応。
- (5) スティックとスロットルとが交換でき、従来のジョイスティックとしても使用できます。すなわち、左手でスティック操作、右手でトリガボタンの操作ができます。
- (6) 両手にフィットするスティック、スロットルおよび操作ボタン、各種モードスイッチなどを装備し、最適な操作環境を実現しました。

※本機のアナログモードを利用するには、アナログモード対応のソフトウェアが必要ですが、従来のジョイスティック(デジタルモード方式)で動作するソフトウェアをアナログモードで操作することはできません。

2. 取扱いのご注意

- 本機を持ち運ぶときや、コンピュータ本体からコネクタをはずすときはコードを持たないでください。
- 落としたり、ぶつけたりして、衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 湿気の多い場所や、ホコリの多い場所でのご使用は避けてください。故障の原因になります。
- 汚れはやわらかい布に水または洗剤を含ませて軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。キャビネットの塗装が付着することがあります。

3. 各部の名称と機能



スティック

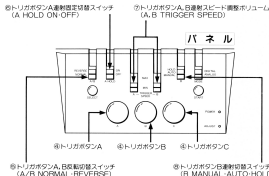
①トリガボタンA, B

②トリガボタンA連射切替スイッチ (ON-OFF)

このスイッチをオンにし、トリガボタンAを押すとAボタンの連射が可能になります。

スロットル

③トリガボタンD, E1, E2



パネル

④トリガボタンA, B, C

トリガボタンA, Bは、スティックのトリガボタンA, Bと同様のはたらきをします。操作に応じてどちらでも使用できます。

⑤トリガボタンA, B反転切替スイッチ (A/B NORMAL-REVERSE)

反転モード (REVERSE) にすると、パネル、スティックのトリガボタンAとBを入れ替えます。すなわち、トリガボタンAがBに、トリガボタンBがAになります。NORMALにすると表示どおりになります。

⑥トリガボタンA連射固定切替スイッチ (A HOLD ON-OFF)

スティックのトリガボタンA連射切替スイッチがオンのときのみ、このスイッチが有効になります。オンにすると、連射が固定できます。オフにすると、Aボタンを押したときのみ連射ができます。

⑦トリガボタンA, B連射スピード調整ボリューム (A, B TRIGGER SPEED)

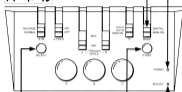
このボリュームにより、トリガボタンA, Bの連射スピードが連続的に、個別に調整できます。MAXは最高、MINは最低のスピードです。

⑧トリガボタンB連射切替スイッチ (B MANUAL-AUTO-HOLD)

このスイッチにより、トリガボタンBの連射をしない (MANUAL) / 連射をする (AUTO) / 連射を固定する (HOLD) の3段階に切り替えます。

⑥モード切替スイッチ(ANALOG・DIGITAL)

パネル



⑩セレクトボタン(SELECT)

⑨スタートボタン(START)

⑦電源ランプ(POWER)

⑧調整ランプ(ADJUST)

パネル

⑥モード切替スイッチ(ANALOG・DIGITAL)

アナログモード(ANALOG)、デジタルモード(DIGITAL)に切替えるスイッチです。アナログモードは、本機のアナログモード対応のソフトウェアを起動したときのみ使用できるモードです。デジタルモードは、従来のジョイスティックで動作するソフトウェアを起動したときに使用できるモードです。

⑩セレクト、スタートボタン(SELECT・START)

⑦電源ランプ(POWER)

本機をコンピュータのジョイスティックコネクタに接続し、コンピュータの電源を入れた場合に赤色に点灯します。

⑧調整ランプ(ADJUST)

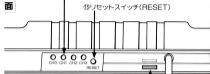
スティックの前後方向、左右方向およびスロットルの前後方向のセンター位置を調整する際はその朝別に使用します。詳しくは、「7. センター位置調整手順」をお読みください。

⑨ベゼル固定レバー(LOCK・UNLOCK) …6ページの図を参照

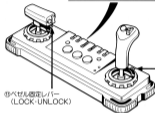
スティック、スロットルを取りはずすときに使用します。詳しくは、「5. スティック、スロットル交換手順」をお読みください。

⑨チャンネル0, 1, 2, 3(CH0・CH1・CH2・CH3)

後面



⑪カートリッジ取出しつまみ



⑫ベゼル固定レバー(LOCK・UNLOCK)

⑬ベゼル固定レバー(LOCK・UNLOCK)

後面

⑨チャンネル0, 1, 2, 3(CH0・CH1・CH2・CH3)

スティックの前後方向、左右方向およびスロットルの前後方向のセンター位置を調整するジョイユームです。詳しくは、「7. センター位置調整手順」をお読みください。

⑩リセットスイッチ(RESET)

各種モードに設定したり、解除するスイッチです。詳しくは、「6. 特殊モード」、「7. センター位置調整手順」をご参照ください。

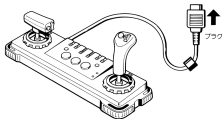
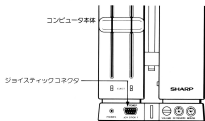
⑪カートリッジ取出しつまみ

このつまみを持ってカートリッジを取り出します。必要なとき以外は取り出さないでください。

4. 接続手順

手 順

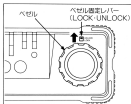
- (1) コンピュータ本体、および各種周辺機器の主電源スイッチが「切」(OFF)であることを確認してください。
- (2) コンピュータ本体に本機をつなぐには、プラグをコンピュータ本体のジョイスティックコネクタにしっかりと差し込んでください。
- (3) 使用するソフトウェアを所定の順序で起動してください。



5. スティック、スロットル交換手順

従来のジョイスティックと同様の使いかた、すなわち、左手でスティック、右手でトリガボタンを操作するには、次の手順で、スティック、スロットルを交換してください。

- (1) 本機のプラグをコンピュータ本体のジョイスティックコネクタからはずしてください。

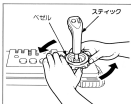


(図1)

- (2) スティックとスロットルを取りはずします。

① ベゼル固定レバーを解除(UNLOCK側)にします。(図1)

② 図2のようにベゼルの両手で時計の針と反対方向に回すと「カチツ」と音がしてスティックが取りはずせます。スロットルも同様に行えば取りはずすことができます。

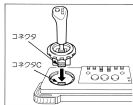


(図2)

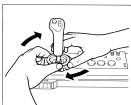
- (3) スティックを左側、スロットルを右側に取り付けます。

① 図3のようにスティックを本体の左側に入れます。このとき、スティックと本体のコネクタCがそれぞれ合うように入れてください。

② ベゼルの両手で時計の針と同方向に「カチツ」と音がするまで回すと、コネクタが接続されますので、ベゼル固定レバーを固定(LOCK側)してください。これで取り付けが完了します。(図4)

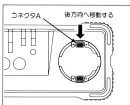


(図3)



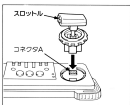
(図4)

- ③ 次にスロットルを取り付けます。本体の右側コネクタは前後方向に動きまわりますので後方向へ動かして、スロットルのトリガボタンD、E1/E2が右手親指で操作できるように、本体の右側に入れます。(図5)



(図5)

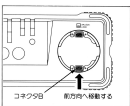
- ④ ①のときと同様にスロットルと本体のコネクタAがそれぞれ合うように入れ、ベゼルを両手で時計の針と同方向に回す「カチッ」と言わせてコネクタが接続されますので、ベゼル固定レバーを固定(LOCK)してください。これで取り付けが完了します。(図6)



(図6)

- (4) 元の位置に戻す、すなわちスティックを右側、スロットルを左側にするときは、PB(1)(2)を行ってスティック、スロットルを取りはずし、スロットルは(3)④のスティック取り付けと同様のことを行ってください。

スティックの場合は、本体の右側のコネクタを前方向へ動かしてからコネクタBと取り付けてください。



(図7)

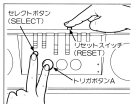
なお、スティックとスロットルとを交換した場合は、7項で説明する7.センター位置調整手順で、操作手順が一部異なります。詳しくは、それぞれの項目をお読みください。

6. 特殊モード(アナログモード時)*

このモードには、スティック、スロットルの移動量を2倍にしたり、スティックの前後方向を反転するモードがあります。操作に応じて、使用してください。

(1) 移動量2倍モードの設定

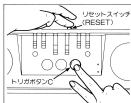
- ①スティックの前後、左右方向(図8)
セレクトボタン(SELECT)、トリガボタンA(CI(ナール上))を押しながら、リセットスイッチ(RESET)を押してください
- ②スロットルの前後方向
セレクトボタン(SELECT)、トリガボタンB(CI(ナール上))を押しながら、リセットスイッチ(RESET)を押してください
- ③スティックの前後左右方向、スロットルの前後方向
セレクトボタン(SELECT)、トリガボタンA、B(CI(ナール上))を押しながら、リセットスイッチ(RESET)を押してください



(図8)

(2) スティック前後方向反転モードの設定

トリガボタンCを押しながら、リセットスイッチ(RESET)を押してください。(図9)



(図9)

(3) (1)、(2)の同時モード

(1)、(2)を同時に行えば、移動量2倍モード/スティック前後方向反転モードに同時に入ることができます。
たとえば、セレクトボタン(SELECT)トリガボタンA、C(CI(ナール上))を押しながら、リセットスイッチ(RESET)を押すと、スティックの前後左右方向の移動量が2倍になり、かつ、前後方向が反転します。(図10)



(図10)

(4) 特殊モード解除

特殊モードから、通常の状態にもどすときは、リセットスイッチ(RESET)を押してください。

* デジタルモード時もアナログモード時と同様の操作を行えば、設定・解除ができます。

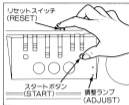
7. センター位置調整手順(アナログモード時)

工場出荷時、スティックの前後、左右およびスロットルの前後の位置はセンターの位置に調整されています。センターの位置に再調整する場合は、次のようにしてください。

(1) センター位置調整モードに設定します。

平らなところに本機を置きます。

スタートボタン (START) を押しながら、リセットスイッチ (RESET) を押し、調整ランプ (ADJUST) が点灯し、センター位置調整モードになります。(図11)

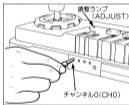


(図11)

(2) センター位置調整

まず、スティックの前後方向 (CH0) のセンター位置調整について説明します。センター位置調整モードに入ったらパネルのトリガボタン A を押します。このとき調整ランプ (ADJUST) は 1 回点滅します。

スティックを手から離した状態でセンター位置であれば、調整ランプ (ADJUST) が点灯します。センター位置でなければ、調整ランプ (ADJUST) が点灯したままの状態になっていますので、本体後面のチャンネル 0 (CH0) のボリュームを同様のドライバーで調整し、調整ランプ (ADJUST) を点灯させます。これで、スティックの前後方向のセンターが調整できました。(図12)



(図12)

さらに、スティックの左右方向、スロットルの前後方向のセンター位置調整を行うには、次のようになります。

① スティックの左右方向

パネルのトリガボタン B を押し(このとき調整ランプが 2 回点滅)、本体後面のチャンネル 1 (CH1) のボリュームを調整し、調整ランプ (ADJUST) を点灯させます。

② スロットルの前後方向

パネルのトリガボタン C を押し(このとき調整ランプが 3 回点滅)、本体後面のチャンネル 2 (CH2) のボリュームを調整し、調整ランプ (ADJUST) を点灯させます。

最後に、パネルのトリガボタン A、B、C を順次押し、そのつど調整ランプ (ADJUST) が点灯することを確認してください。

(3) 調整モードの解除

後面のリセットスイッチ (RESET) を押し、調整モードを解除することができます。このとき、調整ランプ (ADJUST) は点灯します。

なお、「5. スティック、スロットル交換手順」にしたがって、スティックとスロットルとを交換し、調整する場合は(1)の操作を行い、次のようになります。

① スティックの前後方向

パネルのトリガボタン C を押し(このとき調整ランプが 3 回点滅)、本体後面のチャンネル 2 (CH2) のボリュームを調整してください。

② スティックの左右方向

パネルのトリガボタン D を押し(このとき調整ランプが 4 回点滅)、本体後面のチャンネル 3 (CH3) のボリュームを調整してください。

③ スロットルの前後方向

パネルのトリガボタン A を押し(このとき調整ランプが 1 回点滅)、本体後面のチャンネル 0 (CH0) のボリュームを調整してください。

8. コネクタピン配置および信号表

コネクタピン配置図



信号表

NO.	信号名	I/O
1	IOA0	OUT
2	IOA1	OUT
3	IOA2	OUT
4	IOA3	OUT
5	+5V	IN
6	IOA5	OUT
7	IOA6	OUT
8	PC4	IN
9	GND	—

*アタリ社規格準拠

9. 仕様

形名 CZ-8NJ2

品名 インテリジェントコントローラ

トリガボタン：A, B, C, D, E1, E2の6種類

運転モード：運転オン/オフ/運転設定の3モード
運転スピード無段階切替(トリガボタンA, B)

反転モード：トリガボタンA, Bの反転

スティック：トリガボタンA, BおよびトリガボタンAの運転オン/オフ切替スイッチ兼用

スロットル：トリガボタンD, E1, E2兼用

出力モード：アナログ/デジタルモード出力切替可能

インターフェイス：アタリ仕様ジョイスティックインターフェイス

電源：DC5V(コンピュータ本体より電源供給)

寸法：幅46×奥行き148×高さ170mm

重量：1.7kg

同梱物：取扱説明書1冊、保証書1部、お客様ご相談窓口一覧表1部
調整ドライバー1個

電波障害自主規制について

本機は、第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等、電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しています。
しかし、本機をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると受信障害の原因になることがあります。この取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

お問い合わせは

この表紙についてのご質問、ご購入はホームページのお問い合わせ先、または各店舗ごとの相談窓口へお問い合わせください。

札幌支店お客様相談室	〒060	札幌市西区24軒1番3丁目3-17番	☎011-262-4649
仙台支店お客様相談室	〒980	仙台市青葉区3丁目1番27番	☎022-228-0141
宇都宮支店お客様相談室	〒320	宇都宮市本郷町4丁目2番11番	☎0286-26-1155
東京支店お客様相談室	〒114	東京都北区東目黒2丁目10番17番	☎03-583-4649
名古屋支店お客様相談室	〒464	名古屋市中川区山手3丁目6番5号	☎052-533-4649
金沢支店お客様相談室	〒921	石川県野々市町宇賀野原町1088番地の1	☎0762-46-4649
大阪支店お客様相談室	〒556	大阪市東淀川区豊美西番1丁目2番9号	☎06-261-50-4649
広島支店お客様相談室	〒731-01	広島市安芸南区西原2丁目11番4号	☎082-524-4649
高松支店お客様相談室	〒760	高松市木太町1番6-1番地の3	☎087-533-4649
福岡支店お客様相談室	〒811	福岡市博多区井原町2丁目1番1号	☎092-257-4649
※ 横浜お客様相談室	〒220	新横浜2丁目10番地1	☎03-6832-2201

上記以外にも、各店舗ごとの郵便ご相談窓口を設けておられます。付属の「お客様ご相談窓口一覧表」もご確認ください。併せて、電話受付もご活用ください。その他は下記お問い合わせ先へ。

シャープ株式会社

本社 〒545 大阪市阿倍野区長崎町22番22号
 電話 06 (621) 1221 (大代表)
 電子機器事業本部 〒329-21 栃木県天板市早川町174番地
 電話 0287(43)1131 (大代表)

お客様へ……お問い合わせの日付、お問い合わせの宛先が必ず記入されます。修理などの依頼のときに便利です。

お買いあげ年月日	年 月 日
お買いあげ店名	
	電話番号
もよりの お客様ご相談窓口	
	電話番号